



一般社団法人 日本病院会  
Japan Hospital Association

病院経営をリードする確かな人材を

# 病院中堅職員 育成研修

- 人事・労務管理コース
- 経営管理コース
- 医事管理コース
- 財務・会計コース
- 薬剤部門管理コース
- 医療技術部門管理コース



## 病院中堅職員育成研修

病院経営の質推進委員会が行う病院中堅職員育成研修は、病院経営の質向上に寄与できる次世代を担う中堅職員の育成を目的に、2011年より開始した研修事業です。「経営感覚の養成」、「多職種混合」を特色とした内容で、「人事・労務管理コース」、「経営管理コース」、「医事管理コース」、「財務・会計コース」、「薬剤部門管理コース」、「医療技術部門管理コース」の6コースを立ち上げ、これまで5,000人（2019年4月）を超える修了者を輩出しています。

### 日本病院会の活動

日本病院会では、病院医療の在り方、健全な経営のための政策提言や人材の育成、調査の実施・分析、広報活動を円滑に行うための委員会を組織しています。

- I. 医療政策に関わる事項（医療政策、医療の安全確保推進、病院精神科医療、災害医療対策）
- II. 医療経営に関わる事項（中小病院、医業税制）
- III. 診療報酬に関わる事項（診療報酬検討）
- IV. 人材育成に関わる事項（研修・健診事業として医療安全対策、感染症対策、病院総合力推進、QI、臨床研修、栄養管理、健診事業推進、通信教育事業として病院経営管理士教育、病院経営の質推進、専門医・病院総合医育成事業として専門医、病院総合医認定、病院総合医プログラム評価、病院総合医評価・更新）
- V. 情報発信（見える化）に関わる事項（ICT推進、ニュース編集、雑誌編集、ホスピタルショー）
- VI. 診療情報管理に関わる事項（診療情報管理士教育）
- VII. 医療の国際展開に関わる事項（国際）

### 日本病院会とは

日本病院会は1948年の医療法制定の精神を受け、「全病院の一致協力によって病院の向上発展と使命の遂行を図り、社会の福祉増進に寄与する」ことを目的に、1951年6月、公・私病院長が相集い、日本病院協会の名称で設立されました。1976年12月、現名称に変更して今日に至っています。現在の会員数は2,481病院（2019年3月）で、全国の病院に占める割合は病院数にして約30%、病床数にして約43%で、日本の病院団体を代表する構成となっています。また国際病院連盟、アジア病院連盟の理事国として加盟しています。

### 日本病院会がめざすこと

日本病院会のめざすものは、日本の全病院の協力を得て、医の倫理の高揚、病院医療の質と病院機能の向上、患者サービスの向上、病院職員の教育研修の充実、病院経営の健全化等であり、国民が誰でも何時でも何処でも、安心して良い医療を受けられる体制の確立を図ることです。



## ごあいさつ



病院において、「医療の質」「経営の質」を担保することは、病院運営の根幹をなすものであり必要不可欠なことです。この質の担保のため日本病院会では、次世代を担う中堅職員を中心に多職種混合を特色に研修を行っています。研修内容としては、人事・労務管理、経営管理、医事管理、財務・会計、薬剤部門管理、医療技術部門管理の6コースを2日間の日程で開催します。毎日院内において、沢山の医療関係職種がそれぞれの専門分野の業務を行っておりますが、各部門における中堅職員が人事、経営、財務等を知識として習得し業務にあたることは部門、引いては病院全体の質を上げることとなります。ぜひ多くの皆様の参加をいただき、この研修が今後の病院の発展に繋がれば幸いです。

一般社団法人日本病院会 会長 相澤 孝夫



一般社団法人日本病院会では、病院経営の質改善と医療の向上に寄与できる次世代を担う中堅職員を育成するため「病院中堅職員育成研修」を実施してまいりました。この研修にはいくつかのコースを設定していますが、どのコースも最高の研修が受けられるよう、各分野でご活躍中の高い見識を持った人たちに講師をお願いしています。また、多忙な病院職員が無理なく参加できるよう短期（2日間）で行う研修としています。各コース所定の内容を履修した方には日本病院会として修了証を授与しています。病院職員としてのレベルアップのため、この研修にご参加いただき、得た知識と人脈を現場に持ち帰り、今後の業務にお役立ていただければ幸いです。

一般社団法人日本病院会 常任理事 / 病院経営の質推進委員会 委員長 牧野 憲一

# 人事・労務管理コース

人事・労務管理の目的は、人がいかに意欲的に働ける環境・労働条件を整備し、事業目的を達成していくかということにあります。そのためには、職員の募集・採用にはじまり、教育、人事考課を経て昇進、退職に至る過程の中で、労働者個々人の士気を高めると共に、安心して働くことが出来る職場環境を作り上げる必要があります。

本研修では、学問としての体系的な人事・労務管理のみでなく、病院での経験を踏まえた実務、実践レベルでの研修が行なわれます。講師陣は、病院を支え、医療に携わっている皆さんの努力を応援する立場で臨みます。



## 目的

病院の人事・労務管理の特色を理解し実務に役立つ知識とノウハウの習得を目的とする。法規に沿った基本的な労務管理の知識から、働き方改革の対応、医師、看護師を始めとする専門職が多い様々な勤務体系が混在する等の病院独自の事情を踏まえた人事・労務管理について修得する。また、人材確保、教育、賃金、福利厚生といった病院に発生する具体的な事例を学びながら実務に役立つ能力の習得を図る。

### ■ 人事・労務管理コース 担当講師



一般社団法人日本病院会  
病院経営の質推進委員会  
副委員長

**佐合 茂樹**

木沢記念病院  
病院長補佐・事務長

### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

人事と組織マネジメント (グループディスカッション含む)	望ましい組織体制づくりと人事／組織方針や目標の明示と実践／危機管理への取り組み など 相馬 敏克 講師 (元 岩手県立中部病院 事務局長)
人材確保と人材育成	採用に関する諸問題／人材確保／働き方改革／管理職の心得 など 佐合 茂樹 講師 (木沢記念病院 病院長補佐・事務長)
労務管理の重点ポイント	就業規則／休日と休暇／労働時間／当直／休職・退職 など 渡辺 明良 講師 (聖路加国際大学 法人事務局長)
人事評価の手法と実際	賃金制度（報酬制度）と労務管理／人事評価（考課）／教育制度（人材育成）など 朝見 浩一 講師 (柏厚生総合病院 事務長)

# 経営管理コース

今、医療界を取り巻く外部環境は激しく動いています。そして私たちの組織もまたこの動きに合わせて大きく変化をしなければなりません。そのためにも経営マネジメントは重要な課題であり、事務職を中心にその知識と行動力が強く求められています。

経営管理コースでは、組織マネジメントの基礎知識の習得から実際の変革の事例を通して、これからの自院の組織改革の方向性を研修いたします。



## 目的

激しく移り変わる外部環境に対して、われわれの組織自体も変わらなければならない。それには組織自体の理解と組織変革の方向性の理解が必要で、さらに組織のマネジメントが重要である。すなわち、①組織が成り立ち、かつ存続していくために必要な要件の理解（組織管理）。②組織の方向性と事業内容の正しい選択と実践への理解（経営戦略、経営計画）③それらを実行する人材の育成、組織デザインおよび実践の評価等（人的資源管理、組織構造）の理解などである。以上のように、本講座は病院組織の構造を理解し、さらに時代に適応した組織への変革を可能にする知識と行動の習得をねらいとする。

### ■ 経営管理コース 担当講師



一般社団法人日本病院会  
病院経営の質推進委員会 委員

**正木 義博**

済生会支部神奈川県済生会  
支部長

### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

組織分析	組織デザインの要素／組織目標と管理プロセス など 渡辺 明良 講師 (聖路加国際大学 法人事務局長)
組織変革	われわれの組織とその変革 基礎編／組織とその変革 実践編 など 正木 義博 講師 (済生会支部神奈川県済生会 支部長)

## 医事管理コース

医事業務は保険請求から患者サービス業務に至るまで、病院固有の事務業務として多岐にわたり、収益管理を行う最も重要な役割を担っていますが、DPC/PDPS 制度の導入や病院 IT 化の進展などにより、大きな変革期を迎えています。その中で、医療事務に必要なとされる基本的な知識や病院の具体的事例を学び、業務遂行に必要な実践力を高めるとともに、研修後についても、修了生の情報交換の場として、本コースを活用されることを期待いたします。



### 目的

病院の医事管理における体系的な基礎知識の習得から医事統計に至る実務に役立つ知識とノウハウの習得を目的として、保険請求や医事関連法規に関する講義をはじめ、レセプト実務演習、課題別演習を行う。初級編では、医事業務に必要な保険診療に関する基本的な知識の理解を中心に、中級編（リーダー編）では、医事課長を目指す人材、リーダーを対象に、医事管理を行うための最新の必須知識の理解と課題別演習を通して、医事業務の実践能力の向上を目指す。

#### ■ 医事管理コース 担当講師



一般社団法人日本病院会  
病院経営の質推進委員会 委員

**永易 卓**

わかさ電間リハビリテーション病院  
理事・局長

#### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

初級編（対象：実務経験 5 年以内）	
医事業務とは	永易 卓 講師（わかさ電間リハビリテーション病院 理事・局長）
医事関連法規	町田 洋治 講師（東京都済生会中央病院 医事課・医事企画室・診療支援課課長）
保険診療	江原 正恭 講師（社会医療法人社団三思会 理事・総研室長）
保険請求	櫻井 雅彦 講師（元 三井記念病院 医師支援部・医療安全管理部シニアマネージャー）
医事統計～初級編～	持田 勇治 講師（済生会保健・医療・福祉総合研究所 上席研究員）
医事実践講座～グループワーク～	※参加者は、各自「点数表」と「電卓」を持参
中級編（リーダー編）（対象：実務経験 5 年以上）	
医事業務の役割	永易 卓 講師（わかさ電間リハビリテーション病院 理事・局長）
医事関連法規とコンプライアンス	北澤 将 講師（虎の門病院 事務部次長）
診療報酬制度～施設基準管理～	瀬下 忠男（日本施設基準管理士協会 常勤講師、常勤相談員）
医事統計～医事管理と経営分析～	持田 勇治 講師（済生会保健・医療・福祉総合研究所 上席研究員）
人事・労務管理	原口 博 講師（武蔵野赤十字病院 事務部長）
課題別演習～グループワーク～	

## 財務・会計コース

病院の財務会計は、「病院会計準則」に基づき作成されています。財務諸表の様式等を統一することで、病院の経営成績と財政状態を適正に把握し、病院経営の改善に資することを目的としています。一方、管理会計の分野では、内部の意思決定や業績管理のために会計情報を利用した処理が行なわれます。部門別損益計算、行為別（部署別）原価計算、DPC 包括評価導入による疾病別原価計算などがあります。本コースでは、専門の会計士が病院会計の処理方法から会計情報を利用した各種諸表の意味と活用、さらには病院経営に視点に立った分析まで、実践に近い形で修得できるカリキュラムとして設定されています。実務に当たっている病院関係者の方には是非受けていただきたい研修です。



### 目的

病院会計の特徴を踏まえて、基礎から実務そして分析方法までを修得することにより現実の病院経営マネジメントに有用な能力を育成し、事業計画の立案・実施、予算策定と目標管理、日常業務における経営指標の評価や損益及び原価分析に対応できる病院経営人材の育成を目的とする。特に病院経営における財務の視点、財務諸表の読み方、財務状況の分析といった具体的な手法を修得する。

#### ■ 財務・会計コース 担当講師



一般社団法人日本病院会 監事

**石井 孝宜**

石井公認会計士事務所 所長

#### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

経済・財務の視点と会計	財務・会計の基礎／財務諸表／財務諸表の理解と読み方 など
経営指標とその分析・評価	主な病院経営指標の確認／現実的な病院経営分析の実例／病院経営・評価の視点 など 石井 孝宜 講師（石井公認会計士事務所 所長）
管理会計と財務管理	管理会計の概念／原価管理（コストマネジメント）／資金管理
個別の業務管理	設備投資／未収金管理／在庫管理 石尾 肇 講師（石尾公認会計士事務所 所長）

# 薬剤部門管理コース

これからの病院薬剤師に必要とされるものは、「臨床、研究、経営」この3つの知識をバランスよく兼ね備えることだと思います。本コースを通じて、急性期病院・回復期病院・療養病院・中小病院・精神科病院を含む全ての病院で勤務する病院薬剤師にとって、重要な専門知識と薬剤師が理解しておくべき事務的な知識の両分野での習得を行い、病院薬剤師が病院経営上での重要なKey personになる事を期待してこの研修会は作られました。この研修会が良い情報交換の場となり、得た知識を各病院へ持ち帰り病院経営の一翼を担う存在になって頂きたいと思っております。

★本コースは、次の認定対象研修を実施する研修会として登録されています。2日間の履修で、いずれか一方の単位を取得できます。

- ・ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度（一般社団法人日本病院薬剤師会）…………… 7.5 単位
- ・ 研修認定薬剤師制度（公益社団法人日本薬剤師研修センター）…………… 6 単位



## 目的

昨今の厳しい医療環境を克服していくためには、病院薬剤師も病院経営に深く関わっていく必要がある。そのために、薬剤師としての役割である「医薬品の品質管理」「調剤業務」「製剤業務」「注射薬調整業務」「専門薬剤師業務」「救命救急業務」「チーム医療」「薬歴管理」「医薬品安全情報管理」「病棟での薬物療法全般業務」「薬剤師外来業務」「疑義照会とプレアボイド」などの理解はもとより、「病院経営の基礎知識」「保険請求業務の理解」「管理職が心得るべき労務管理」など病院運用に必要な知識を修得し、進展する病院医療の変化に対応して病院経営の一翼を担う存在にならなければならない。この研修は、病院薬剤師が病院経営の重要なキーパーソンとなるための研修である。

### ■ 薬剤部門管理コース 担当講師



一般社団法人日本病院会  
病院経営の質推進委員会 委員  
**眞鍋 伸次**  
KKR 高松病院 薬局長

### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

病院薬剤師への期待	牧野 憲一 講師（旭川赤十字病院 院長）
病棟における薬剤師の業務	林 昌洋 講師（日本病院薬剤師会 副会長、虎の門病院 薬剤部長・治験事務局長）
病院経営管理の基礎	中山 和則 講師（筑波メディカルセンター病院 副院長兼事務部長）
	池田 隆一 講師（社会医療法人財団慈恵会 医療連携センター センター長・相澤東病院 事務長）
病院薬剤師として理解してほしい事（グループディスカッション含む）	眞鍋 伸次 講師（KKR 高松病院 薬局長） 今福 康人 講師（倉敷中央病院 総務部部长）
医療安全における薬剤師の役割	土屋 文人 講師（国際医療福祉大学 薬学部特任教授）
診療報酬請求業務	持田 勇治 講師（済生会保健・医療・福祉総合研究所 上席研究員）
院内安全性情報活用について	折井 孝男 講師（河北総合病院 薬剤部薬剤部長）
薬剤部門における人事・労務管理	原口 博 講師（武蔵野赤十字病院 事務部長）

# 医療技術部門管理コース

医療技術部門管理者には、技術の向上により診療の質を担保することはもちろんのこと、病院経営にも積極的に参画することが求められます。しかし我々技術職は、自身の職能に関する臨床の技術や知識の向上については積極的ですが、病院経営や組織管理、人事労務管理などに関する学習はおろそかになりがちです。この研修は各部門の経営戦略に加え、病院経営や医療安全、管理職としての人事・労務管理なども網羅されておりますので、それらを修得し病院経営に深く関与できる人材となることが期待されます。



## 目的

医療技術部門管理者においては、自部門・部署の管理はもちろんのこと、病院経営にも深く関与していかなければならない。そのためには自身の職能に関する技術・知識の習得だけではなく、病院経営や組織管理、医療安全、管理職として必要な人事労務管理などについても習得する必要がある。このコースはそれらを網羅した内容になっており、必要な知識を理解し、病院経営の一端を担える人材を育成することを目的とする。

### ■ 医療技術部門管理コース 担当講師



一般社団法人日本病院会  
病院経営の質推進委員会 委員  
**飯村 秀樹**  
筑波メディカルセンター  
診療技術部門長

### ■ 講習内容と講師（講師等は都合により変更となることがあります）

医療技術部門への期待	末永 裕之（小牧市民病院 病院事業管理者）	
各部門の経営戦略	診療技術部門	飯村 秀樹（筑波メディカルセンター 診療技術部門長）
	放射線部門	石川 英男（聖隷佐倉市民病院 執行役員・事務長）
	臨床検査部門	横山 一紀（済生会横浜市東部病院 臨床検査部 部長）
	リハビリテーション部門	櫻田 義樹（岩手県立中央病院 リハビリテーション技師長）
グループディスカッション（ケーススタディ）		
技術部門における医療安全	井戸 靖司（社会医療法人厚生会 医療技術部統括部長）	
病院経営・運営方針の考え方	池田 隆一（社会医療法人財団慈恵会 医療連携センター センター長・相澤東病院 事務長）	
管理職として心得ておきたい職場の人事・労務管理	原口 博（武蔵野赤十字病院 事務部長）	

# 概要 <全コース共通>

## ■スケジュール

1年度をおおむね前期(4～9月)と後期(10～翌3月)に分け、各1回研修会(2日間)を開催します。募集は随時行っています。

### 募集から研修会まで



## ■申込方法

- ①ウェブサイトからのお申し込み (<http://www.jha-e.com/moc/>)
  - ②FAXでのお申し込み (FAX: 03-3265-1282)
- ※お申し込みにはメールアドレスの登録が必須です。

## ■受講対象者

- 病院の経営管理職(医師、看護師、薬剤師、メディカルスタッフ)
- 次世代の経営を担う中堅職員

## ■募集人員

各コース定員80人(先着順)

## ■参加費

各コースとも資料代込み

日本病院会会員 1人30,000円

会員以外 1人50,000円

\*参加登録後、申込み完了確認メールをお送りしますので、確認のうえ参加費のお振込みをお願いします。

\*参加費の返金はいたしません。お振り込み後のキャンセルは資料の資料の発送をもってかえさせていただきます。

## ■修了証

コース毎に履修した方へ一般社団法人日本病院会の修了証を発行します。

## ■お問い合わせ・研修会場

一般社団法人 **日本病院会**

病院中堅職員育成研修事務局

〒102-8414

東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル

TEL **03-3265-1281**

FAX **03-3265-1282**

専用メールアドレス: [info@jha-e.com](mailto:info@jha-e.com)

